

平成16年3月23日
株式会社 十六銀行
株式会社 名古屋銀行
株式会社 百五銀行

「中部金融M&Aネットワーク」第一号案件成約

株式会社十六銀行（頭取 小島 伸夫）、株式会社名古屋銀行（頭取 加藤 千磨）、株式会社百五銀行（頭取 前田 肇）は、平成13年11月に「中部金融M&Aネットワーク」を設立し、三行間でこれまで160件を超える情報を交換してまいりましたが、このたび、サン電機工業株式会社（本社：愛知県岡崎市）と有限会社さつき商会（本社：名古屋市港区）の間で、第一号案件を成約いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 対象企業

・譲渡側企業

会社名：サン電機工業株式会社 代表取締役 竹尾和子 氏
住 所：愛知県岡崎市
業 種：電機機器設備業（工場内設備全般）
創 業：1969年
従業員数：12名

・譲受側企業

会社名：有限会社 さつき商会 代表取締役 上村清行 氏
住 所：名古屋市港区
業 種：人材派遣業（港湾運送関連事業・労働者派遣事業）
創 業：1949年
従業員数：150名

2. 契約日 平成16年2月10日

3. 譲渡方法 発行株式の100%譲渡による

4. 「中部金融M&Aネットワーク」について

平成13年11月に設立した三行による地域経済活性化プロジェクト。東海三県のトップ地銀三行のもつ営業基盤、情報力を活用し、地元企業に適切なM&Aソリューションの提供を行う。担当者による情報交換会を毎月実施。企業向けセミナーも開催。

<資料>

1. 対象企業の概要

譲渡側企業・・・サン電機工業株式会社（代表取締役 竹尾和子 氏）

- ・同社は、創業35年、アイシン精機、日本発条等大手企業の工場内設備全般の設計・施工・メンテをおこなっており、これらの企業と非常に厚い信頼関係を構築している。
- ・竹尾和子氏は、5年前に、同社の創業者であり且つ夫でもある竹尾孝氏（当時社長）の急逝により、経理責任者から急遽社長へ就任。
- ・竹尾氏ご夫妻には子供がいなかったことから、将来の事業承継を真剣に悩まれる。

譲受側企業・・・有限会社さつき商会（代表取締役 上村清行 氏）

- ・同社は、創業55年、名古屋港を中心とした港湾運送関連事業・労働者派遣業を営むと共に、グループ内に警備事業会社を有し、名古屋港での地位を確立している
- ・現社長のご子息で、専務取締役の上村龍市氏は、将来の事業展開として、自社にプラスとなる取引先を持つ企業との提携を希望していた。

2. 当初の経緯

譲渡側企業・・・サン電機工業株式会社

- ・平成14年9月 ・竹尾和子氏は、ご主人が亡くなられた後、企業の永続的な発展のためにISO9001:2000年版を取得するのと並行し、M&Aセミナーへ参加するなど事業承継の方法を模索していた。
- ・十六銀行が、自社の将来を考え第三者への事業承継を真剣に考える竹尾氏のニーズをキャッチした。
- ・竹尾氏のニーズに対し、十六銀行が、M&Aによる事業承継を1つの選択肢として提案。候補先の探索を開始すると同時に、中部金融M&Aネットワークへ情報提供を行った。

譲受側企業・・・有限会社さつき商会

- ・平成14年5月 百五銀行が、将来の事業展開に強い思いを持つ上村龍市氏と面談。M&Aを企業成長の重要な戦略と位置づけていることをキャッチした。
- ・平成15年5月 中部金融M&Aネットワーク内での情報を提案。異業種であったものの、「取引先の拡大」、「工場に関連する業務」、「三河地区の拠点」等、種々のシナジー効果を考え前向きに検討。

3. 進捗の経緯

- ・平成15年9月 最初の面談、ミーティングを開催
- ・平成16年2月 最終契約を締結

4 . 本件後の両社

サン電機工業株式会社

- ・ 有限会社さつき商会の取引先に対し、35年に亘り培ってきた自社の提案能力を活かすことにより、業容の拡大を図る。
- ・ 前代表取締役である竹尾和子氏は、同社の相談役兼ISO管理責任者に就任し、引続き同社発展のためにアドバイスを行う。

有限会社さつき商会

- ・ 今回のM&Aにより、三河地区に新たな拠点を取得。サン電機工業株式会社の取引先に対して、自社サービスの提供等も視野に入れた事業展開を図る。
- ・ 同社専務取締役である上村龍市氏は、サン電機工業株式会社 代表取締役に就任し、グループ企業全体の更なる発展を目指す。

以 上

本資料は、三重県政記者クラブ、岐阜経済記者クラブおよび名古屋金融記者クラブにて配布しております。